

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	毎年3月31日
公告方法	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
お問い合わせ先・郵便物送付先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120-288-324（フリーダイヤル）
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

決算情報のご案内

決算情報は、当社のホームページに掲載しております。

<http://www.sysken.co.jp/>



本 社

〒862-0976 熊本市九品寺三丁目15番7号
電話 096-372-1111(代表) FAX 096-373-0127

第55期 SYSKEN'S Report

平成19年4月1日→平成20年3月31日



SYSKEN 企業理念

品質方針
「お客様の
満足を得る」
設備、サービス
を提供する

社 是
我社は
最大の誠意を以て
最良の技術を
提供せむことを欲す

経営方針
一、志気の高揚
一、品質の向上
一、事故の撲滅
一、原価の低減
一、法令の遵守

SYSKEN 経営ビジョン

ユビキタス社会の進展に向け、信頼の技術と品質を提供する
総合エンジニアリング企業を目指す

シスケンは「SYSKENブランド(Q.C.D.M.S)」の向上に努めます。

Q (クオリティ・品質)

最新の技術力を素早く確保し、どこにも負けない優良でお客様が満足する製品を提供する

C (コスト・原価)

徹底した効率化で裏づけされたコストにより収益の最大化を図る

D (デリバリー・納期)

納期を遵守することでお客様に迷惑をかけないサービスを提供する

M (モラル・倫理)

社員教育により法令を遵守する

S (セーフティ・安全)

人身事故・設備事故・交通事故の撲滅を図る

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のことと拝察申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、当社第55期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに営業の概況及び決算につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月



代表取締役社長
赤星 敦

営業の概況 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

◆当社グループの営業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、設備投資の増加、企業収益の改善等により概ね順調に推移しているものの、サブプライム住宅ローン問題を背景とするアメリカ経済の減速や、株式・為替市場の変動、原油価格の動向等から、内外経済に与える影響等が懸念されるところであります。

情報通信分野では、IP化に伴う「固定と携帯」の融合、更には「通信と放送」の融合等構造的変化が顕著であり、次世代ネットワーク（NGN）の商用サービスが発表され、市場は大きく変化しようとしております。

このような状況の中、当社グループは事業の戦略として、従来からの電話系サービスの充実はもちろんのこと、ブロードバンド市場における光サービスの拡大に伴う工事体制の拡充、移動体ビジネスへの拡大、新しいIP系ネットワークサービスなどトータルソリューション体制の構築に取り組むとともに、受注価格の低廉化や工期短縮などにも対応できるよう体制の効率化を推進してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の受注高は300億2千8百万円（前期比96.1%）、売上高は294億6千万円（前期比97.4%）となりました。

また、経常利益は11億2千4百万円（前期比75.6%）、当期純利益は6億円（前期比75.1%）となりました。

◆当社グループの中長期的な経営戦略と対処すべき課題

当社グループは、現在の事業環境及び最新の情報に基づき最善の経営方針を立案するよう努めておりますが、当社グループのコア事業であります情報通信分野におきましては、ますます高度化、多様化するお客様の要望に応えるべく、今後とも信頼される技術と品質を提供する総合エンジニアリング企業を目指す所存でございます。

また、2008年度を初年度とする2010年度までの中期経営計画を掲げ、「SYSKENブランドの向上」と「全事業部門 利益率の向上」の2つを経営戦略の柱とし、以下の重点方針のもと、収益構造の転換と財務体質の強化を図ってまいります。

1. 利益率を重視した受注の確保
2. 効率化促進によるコストの低減
3. NGN時代に適応した組織、業務の再構築
4. 人材育成によるマンパワーと現場力の向上
5. CSR活動の全社員への普及

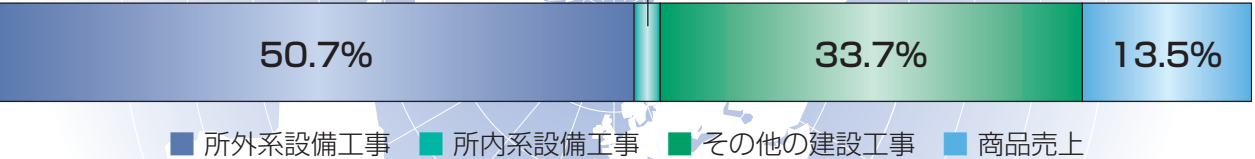
当期の受注高等

■当社グループの当期の受注高・売上高・繰越高

（単位：百万円）

区 分	前期繰越高	当期受注高	当期売上高	次期繰越高
所外系設備工事	6,678	14,734	14,941	6,471
所内系設備工事	88	742	612	219
その他の建設工事	2,394	10,603	9,939	3,059
商品売上	31	3,947	3,967	11
合 計	9,192	30,028	29,460	9,761

売上高構成比



■当社の当期の受注高・完成工事高・繰越高

（単位：百万円）

区 分	前期繰越高	当期受注高	当期完成工事高	次期繰越高
所外系設備工事	6,678	14,734	14,941	6,471
所内系設備工事	88	742	612	219
その他の建設工事	2,119	10,064	9,137	3,046
商品売上	—	853	853	—
合 計	8,886	26,395	25,544	9,737

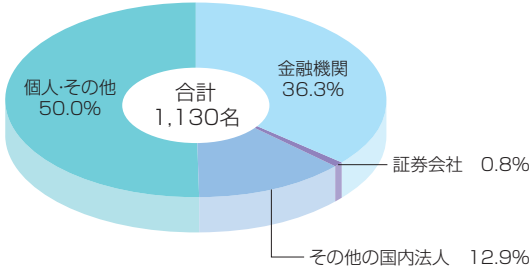
株式の状況 (平成20年3月31日現在)

発行可能株式総数	48,400,000株
発行済株式の総数	13,100,000株
当事業年度末の株主数	1,130名
大株主	

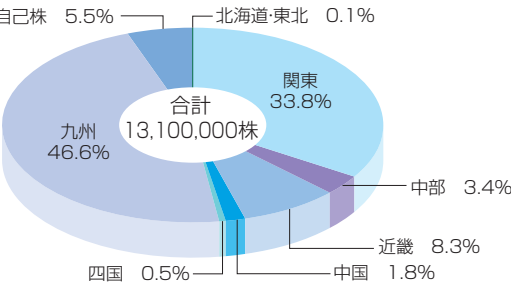
株 主 名	当 社 へ の 出 資 状 況	
	持 株 数 (千株)	出 資 比 率 (%)
西日本システム建設従業員持株会	1,108	8.95
第一生命保険相互会社	981	7.93
日本生命保険相互会社	905	7.31
株式会社肥後銀行	600	4.85
みずほ信託銀行株式会社	435	3.51
住友生命保険相互会社	403	3.26
西部電気工業株式会社	281	2.27
株式会社コミュニチュア	260	2.10
株式会社りそな銀行	259	2.09
石兼雅之	221	1.79

(注) 出資比率は自己株式(721,517株)を控除して計算しております。

◆所有者別株主数分布状況



◆地域別株式数分布状況

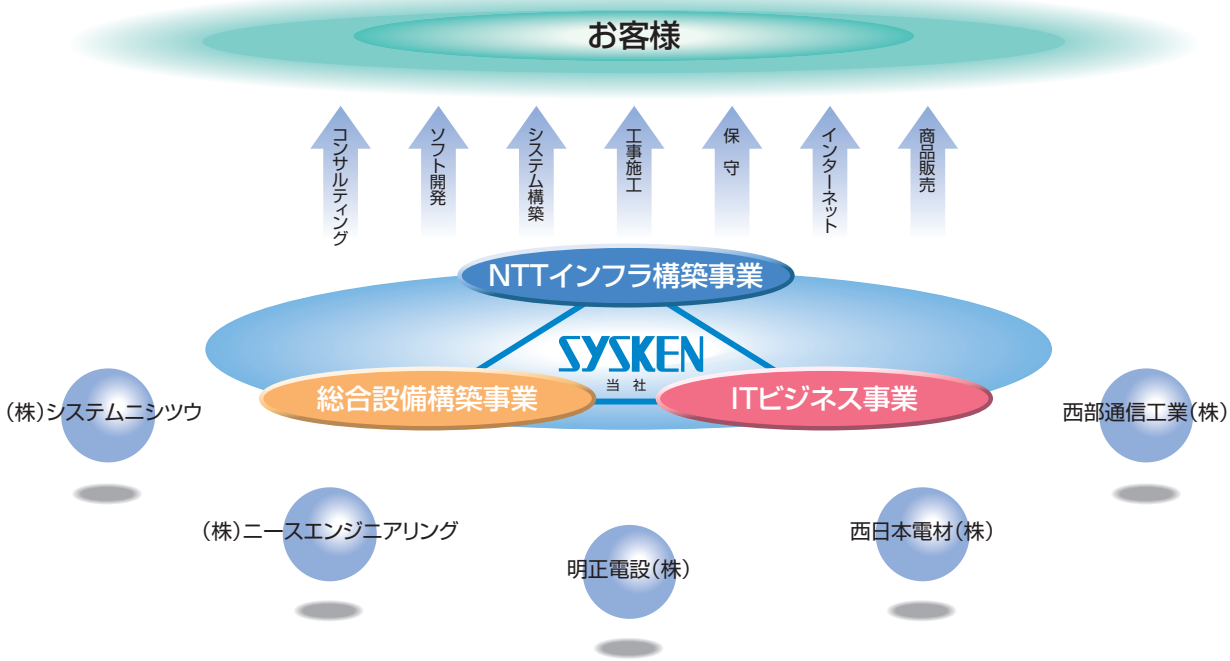


企業結合の状況

◆連結子会社の状況

会 社 名	資 本 金	出 資 比 率	主要な事業内容
西日本電材株式会社	40百万円	100%	電気通信材料・工具の販売並びに通信機器リース
株式会社システムニシツウ	40百万円	100%	各種OA機器・システム開発及び販売
明正電設株式会社	25百万円	100%	電気通信工事の施工

◆シスケングループの概況



連結財務諸表（要旨）

◆連結貸借対照表

（単位：百万円）

期 別	当 期	前 期	期 別	当 期	前 期
科 目	(平成20年3月31日現在)	(平成19年3月31日現在)	科 目	(平成20年3月31日現在)	(平成19年3月31日現在)
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流動資産	10,734	11,488	流動負債	8,279	9,238
固定資産	7,797	8,153	固定負債	2,493	2,705
有形固定資産	3,282	3,131	負債合計	10,772	11,943
無形固定資産	313	330	(純 資 産 の 部)		
投資その他の資産	4,201	4,691	株主資本	7,602	7,126
			資本金	801	801
			資本剰余金	560	560
			利益剰余金	6,400	5,923
			自己株式	△158	△157
			評価・換算差額等	156	572
			その他有価証券評価差額金	156	572
資産合計	18,531	19,642	純資産合計	7,759	7,698
			負債純資産合計	18,531	19,642

◆連結損益計算書

（単位：百万円）

期 別	当 期	前 期
科 目	(平成19年4月1日～平成20年3月31日)	(平成18年4月1日～平成19年3月31日)
売上高	29,460	30,244
売上原価	26,414	26,939
売上総利益	3,045	3,305
販売費及び一般管理費	2,123	2,029
営業利益	922	1,276
営業外収益	266	249
営業外費用	64	37
経常利益	1,124	1,488
特別利益	2	27
特別損失	102	139
税金等調整前当期純利益	1,024	1,376
法人税、住民税及び事業税	409	318
法人税等調整額	14	258
当期純利益	600	799

◆連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

期 別	当 期	前 期
科 目	(平成19年4月1日～平成20年3月31日)	(平成18年4月1日～平成19年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,057	322
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199	△400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,565	301
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	12
現金及び現金同等物の増減額	285	235
現金及び現金同等物の期首残高	753	518
現金及び現金同等物の期末残高	1,038	753

◆連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高	801	560	5,923	△157	7,126	572	572	7,698
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△123		△123			△123
当期純利益			600		600			600
自己株式の取得				△1	△1			△1
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						△415	△415	△415
合計	—	—	477	△1	475	△415	△415	60
平成20年3月31日残高	801	560	6,400	△158	7,602	156	156	7,759

個別財務諸表（要旨）

◆貸借対照表

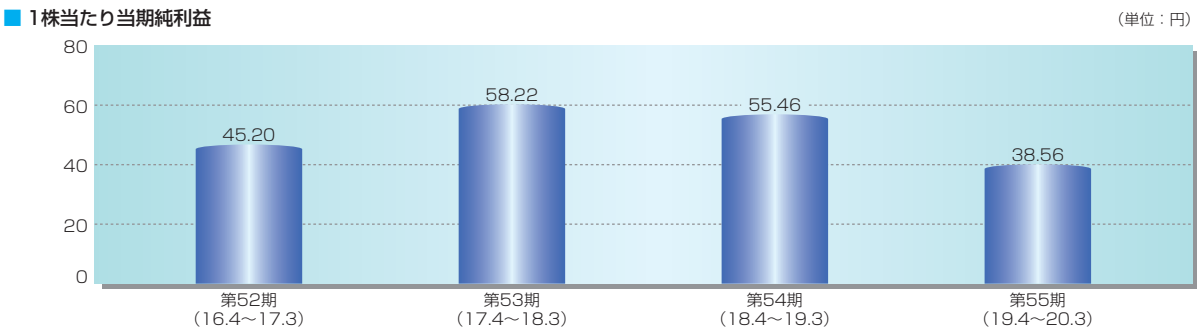
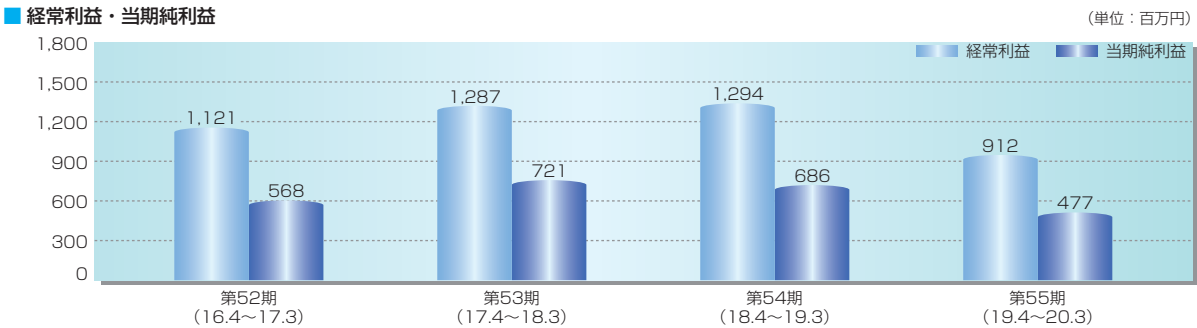
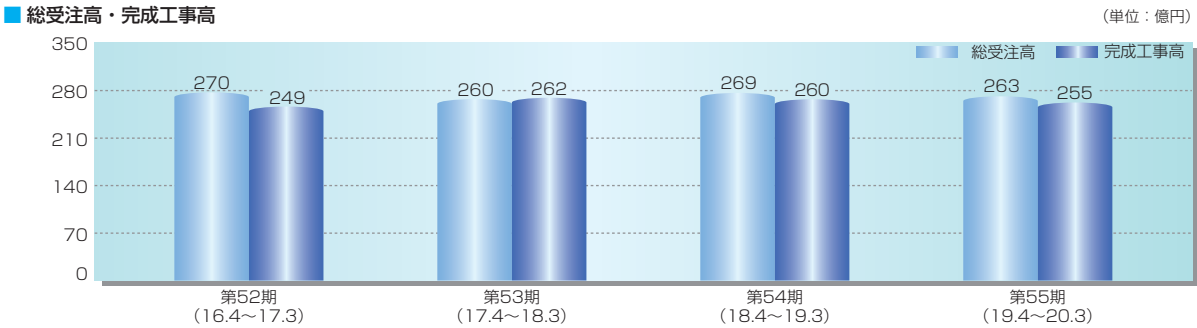
期 別		当 期 (平成20年3月31日現在)	前 期 (平成19年3月31日現在)	期 別		当 期 (平成20年3月31日現在)	前 期 (平成19年3月31日現在)
科 目				科 目			
(資 産 の 部)				(負 債 の 部)			
流動資産		9,024	9,462	流動負債		7,387	7,916
固定資産		6,515	6,878	固定負債		2,209	2,424
				負債合計		9,597	10,340
有形固定資産				(純 資 産 の 部)			
無形固定資産		324	352	株主資本		5,795	5,443
投資その他の資産		3,272	3,804	資本金		801	801
				資本剰余金		560	560
				利益剰余金		4,592	4,238
				自己株式		△157	△156
				評価・換算差額等		147	556
				その他有価証券評価差額金		147	556
資産合計		15,540	16,340	純資産合計		5,943	5,999
				負債純資産合計		15,540	16,340

◆損益計算書

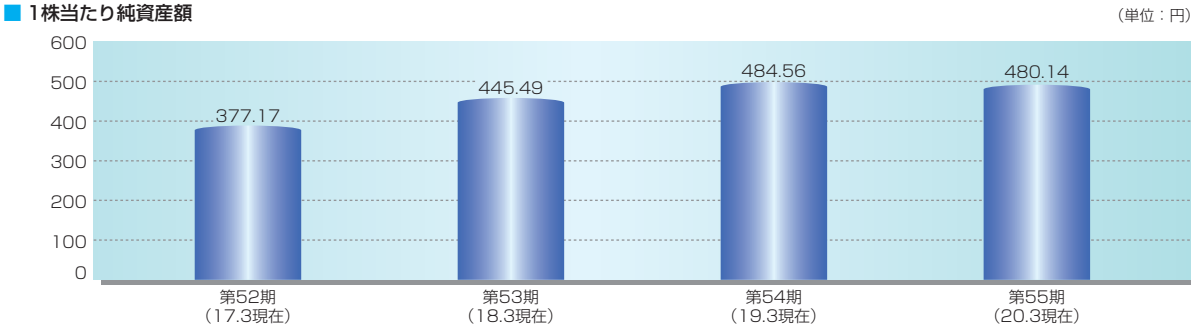
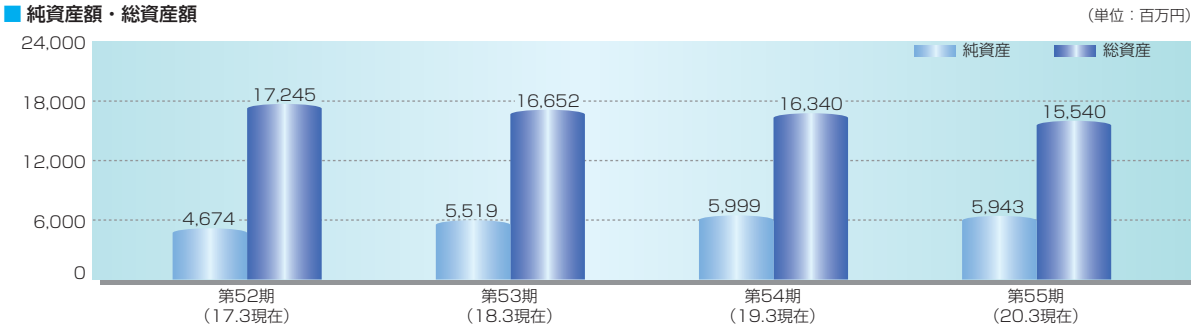
			(単位：百万円)		
科 目	期 別	当 期 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)	前 期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)	科 目	期 別
完成工事高		25,544	26,067	完成工事原価	
完成工事総利益		2,363	2,615	販売費及び一般管理費	
営業利益		762	1,114	営業外収益	
営業外収益		203	208	営業外費用	
経常利益		912	1,294	特別利益	
特別利益		2	—	特別損失	
税引前当期純利益		833	1,228	法人税、住民税及び事業税	
法人税、住民税及び事業税		348	250	法人税等調整額	
当期純利益		477	686		

財務ハイライト（個別）

◆業績の推移



財務ハイライト（個別）



◆ 株主資本等変動計算書

当事業年度（自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日） (単位：百万円)

		株主資本									評価・換算差額等		純資産合計	
		資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
			資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		利益剰余金合計						
						固定資産圧縮積立金	別途積立金		繰越利益剰余金					
平成19年3月31日残高		801	560	560	200	37	3,050	951	4,238	△156	5,443	556	556	5,999
事業年度中の変動額	固定資産圧縮積立金の取崩					△2		2	－		－			－
	別途積立金の積立						500	△500	－		－			－
	剰余金の配当							△123	△123		△123			△123
	当期純利益							477	477		477			477
	自己株式の取得									△1	△1			△1
	株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）											△408	△408	△408
合計		－	－	－	－	△2	500	△143	353	△1	352	△408	△408	△56
平成20年3月31日残高		801	560	560	200	34	3,550	807	4,592	△157	5,795	147	147	5,943

トピックス



平成20年度には15名のフレッシュな社員がシスケンに誕生しました。



「阿蘇野焼きボランティア」
当社では社会貢献活動として「阿蘇の野焼き」に参加しています。
5年目となった今回は、社長以下50名が2班に分かれ、汗を流しました。



地域貢献活動
地域活動の一環として、長崎市内の小学校の周辺道路で通学路歩道に垂れ下がっていた枝や、信号機が見えにくくなるほど伸びた枝などの剪定作業、カーブミラーの清掃作業を行いました。
活動状況は地元のNHK他テレビで紹介されました。

当社ではパークドーム熊本で開催された「第46回1000万人ラジオ体操みんなの体操祭中央大会」に社長以下100名が参加しました。



「やってよかった安全対策」冊子作成
この冊子は、安全対策を施していたことで大事に至らなかった場面を体験した本人の絵と直筆でおさめています。

会社の概要 (平成20年3月31日現在)

設立年月日	昭和29年9月10日
発行可能株式総数	48,400,000株
発行済株式の総数	13,100,000株
資本金	801,000,000円
事業内容	●電気通信設備・設計・施工・保守・コンサルタント ●ネットワークソリューション事業 ●グループウェア、各種システム開発 ●LAN、WANイントラネット構築 ●情報通信（PBX、OA）工事、メンテナンス ●各種通信機器、OA機器販売 ●インターネットプロバイダー ●OCN代理店、NTTdocomo代理店
上場証券取引所	大阪証券取引所市場第二部 福岡証券取引所
本店	〒862-0976 熊本市九品寺三丁目15番7号 電話（096）-372-1111（代表）
支社	福岡、熊本、鹿児島、東京
支店	北九州、長崎、佐賀、大分、宮崎、 関西、沖縄
従業員数	633名
URL	http://www.sysken.co.jp/

役員 (平成20年6月26日現在)

代表取締役社長	赤 星 敦
専務取締役	柴 野 泰
常務取締役	挟 間 規
常務取締役	板 井 次 男
取締役	松 本 和 孝
取締役	荒 井 篤 實
取締役	緒 方 博
取締役	高 嶋 良 光
取締役	片 渕 康 文
取締役	亀 澤 知 昭
常勤監査役	香 山 郁 夫
常勤監査役	森 豊 康
監査役	福 田 稠

主要な事業所

本社本館	熊本市九品寺3-15-7	関西支店	大阪市中央区石町1-1-1 天満橋千代田ビル2号館7F
本社別館	熊本市九品寺2-6-37	沖縄支店	那覇市大道78-7
福岡支社	福岡市早良区次郎丸6-11-46	福岡アクセスセンタ	福岡市早良区次郎丸6-11-46
熊本支社	合志市幾久富建山1909-39	長崎アクセスセンタ	西彼杵郡長与町高田郷大平1769-8
鹿児島支社	鹿児島市谷山港1-4-7	伊万里アクセスセンタ	伊万里市立花町南ヶ丘2-3-15
東京支社	東京都中央区銀座1-14-9 銀座スワロービル6F	熊本アクセスセンタ	合志市幾久富建山1909-39
北九州営業支店	北九州市小倉北区東篠崎1-5-1 NTT小倉南ビル3F	別府アクセスセンタ	別府市馬場3組-3
長崎営業支店	西彼杵郡長与町高田郷岡崎3464	中津アクセスセンタ	中津市上如水字沖の坪1781
佐賀営業支店	佐賀市日の出1-15-11	延岡アクセスセンタ	延岡市土々呂町6-1674
大分営業支店	大分市田室町8-35	鹿児島アクセスセンタ	鹿児島市谷山港1-4-7
宮崎営業支店	宮崎市日の出町35	鹿屋アクセスセンタ	鹿屋市高須町3232-1

